代表者会議【資料２－１】

茅ヶ崎市自立支援協議会　報告書

件　　名	第２回　こども支援部会
日　　時	令和８年９月９日（水）　１２時００分～１４時００分
場　　所	茅ヶ崎市役所　本庁舎４階　会議室１
事 務 局	相談支援センター　つみき
出 席 者	■齊藤　智彦　（教育センター　青少年教育相談担当：部会長） ■大澤　大輔　（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社：副部会長） ■小野　達也　（教育センター　青少年教育相談担当） ■青木　亜弥子（児童発達支援センター　つつじ学園） □石澤　睦　　（児童発達支援センター　うーたん） ■戸祭　高志　（放課後等デイサービス　こあら） ■加藤　美穂　（ちがさき学童保育の会） ■於保　裕希　（神奈川県立茅ケ崎支援学校） ■吉岡　真紀　（児童発達支援センター　うーたん） ■星島　董　　（障がい福祉課） □大隣　葉月　（学校教育指導課） ■三上　洋子　（学校教育指導課・スクールソーシャルワーカー） ■堀内　利紀　（浜須賀小学校教頭：ゲストスピーカー） ■池元　佑輔　（オブザーバー：障がい福祉課） ■鈴木　敦之　（オブザーバー：障がい福祉課） ■棚橋　利恵　　（部会事務局：相談支援センターつみき） ■檜物　加奈子　（部会事務局：相談支援センターつみき） ■　出席　□欠席
議　　題	１　第１回目の振り返り ２　学校の現状報告・質疑応答 ３　グループ協議 「相談から支援につながるまで、地域の支援期間はどのようにつながっているのか」
検討内容	１　第１回目の振り返り 各機関が現在抱えている課題を抽出。 「支援ニーズの増加」、「地域資源・人材不足」が共通する背景として認められ、「教育・福祉・医療の連携」、「相談支援体制」、「保護者支援」が十分に追いついていない状況が把握できた。

	２　学校の現状について　質疑応答 ・浜須賀小学校堀内利紀教頭を招き、各グループから、様々な質問があげられた。 ・学童や放課後等デイサービスとしては、一人のこどもを多角的にみるために、学校以外の学童や放課後等デイサービスと連携し、情報共有したいと考えているが、学校の現状としての受入れ体制は整っているのか。 →学校の現状からすると、学童や放課後デイサービスの求める形をすべて反映させることはできないため、まずは、担任だけで抱え込まず、学校、組織としての情報共有等の体制づくりが必要だと考えられる。 ・進学の際の引継ぎについて、幼稚園、保育園と行う際に、児童発達支援事業の情報を得ているケースも多い。 ・ある学童では、行事等のお知らせを学校へ伝え、教員の参加も多いが、業務の負担になっていないか。 →学校以外のこどもの様子を知ることは、学校にとっても多角的な視点を生かした支援につながる。学童の行事等への教員の参加は、個人の判断としている学校が多いと思う。 ・近年の学校教育の変容をどのように感じているか。 →様々な変容はある中で、特に感じるものとしては、授業等で一人一台端末の活用していることである。特別支援級の児童・生徒にも配備され、視覚支援、動画など、こどもにとって有効なツールとなっていると感じる。 ３　グループワーク ３グループに分かれて、「相談から支援につながるまで、地域の支援機関はどのようにつながっているのか」について話し合いを行った。 ・県立支援学校では、連絡帳等で保護者へ伝え続けることで、気付きにつながっている。ただ、具体的に相談先を提示すると難色を示し、つながらないケースもある。 ・入学時、保護者の思いと学校側の受け取りに、福祉と教育の解離が見られることがある。 ・学童と放課後等デイサービスを併用している方も多く、もっと密な情報共有ができればその子にとってよりよい支援ができるのではと感じている。 ・学校へ連絡したいが、誰に、いつ、連絡していいかわからない。と保護者から相談機関へ連絡があった。 ・SSW は、ケース会議について、どの機関を招集するのか、どこがゴールになるかなど、明確に提示していただけるので、支援チームのキーパーソンとなり、日頃から密に連携をとっている。 ・放課後等デイサービスの個別支援計画と学校の指導計画が、本来はリンクするべきではないか。

	・過去に学校に相談事業所からケース会議を持ち掛けて断られたケースがあった。保護者から学校へ依頼し、関係機関も参加してほしいことも共に伝えてもらう。 ・SSW やSC を有効活用したいが、出勤日など明確に提示されていないので、相談しにくいのではないか。 ・校長が変わったら連携がうまくいかないなど、人で対応するのではなく、組織として連携の形を作るべきではないか。 ・連携について、好事例も取り上げることで、支援を次につなげていくことができるのではないか。 ※今後について ・教育の会議や研修会等に、放課後等等デイサービスや学童、相談など福祉の仕組みを知ってもらう機会を設定できるとよい。 ・学校によってはではあるが、以前行っていた学校、放課後等デイサービス、学童との情報交換会が定期的に行えるような仕組みづくりができるとよい。 ４　その他 ・昨年度作成した支援図が完成し、順次配布予定。 ・次回、令和８年１２月予定